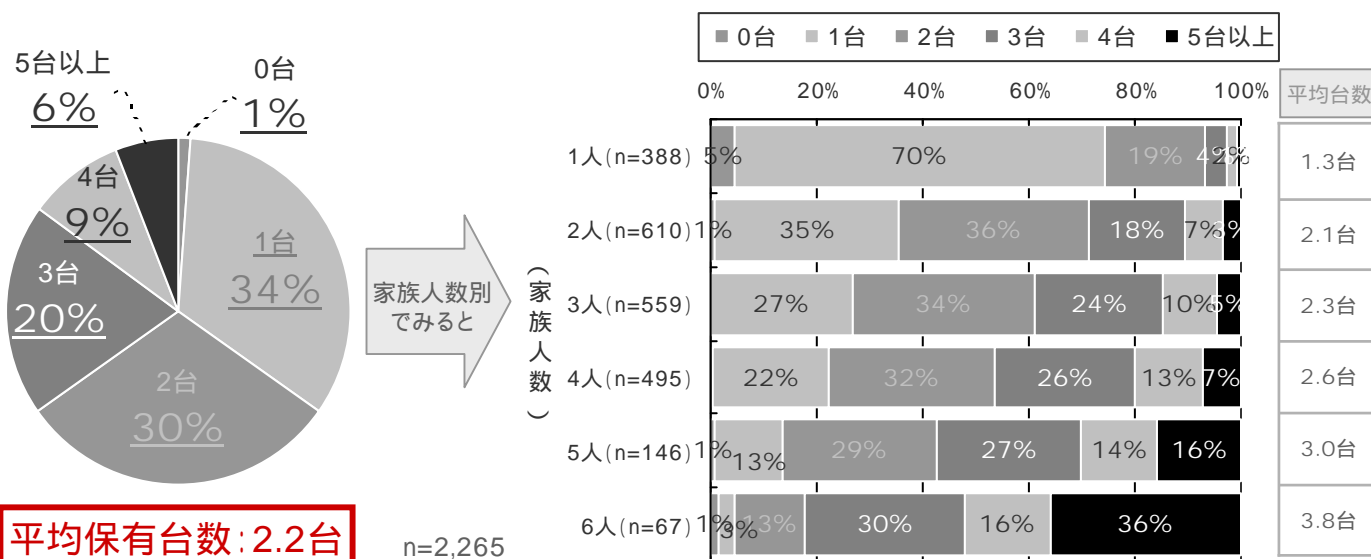


1 保有状況、視聴時間に関する調査結果

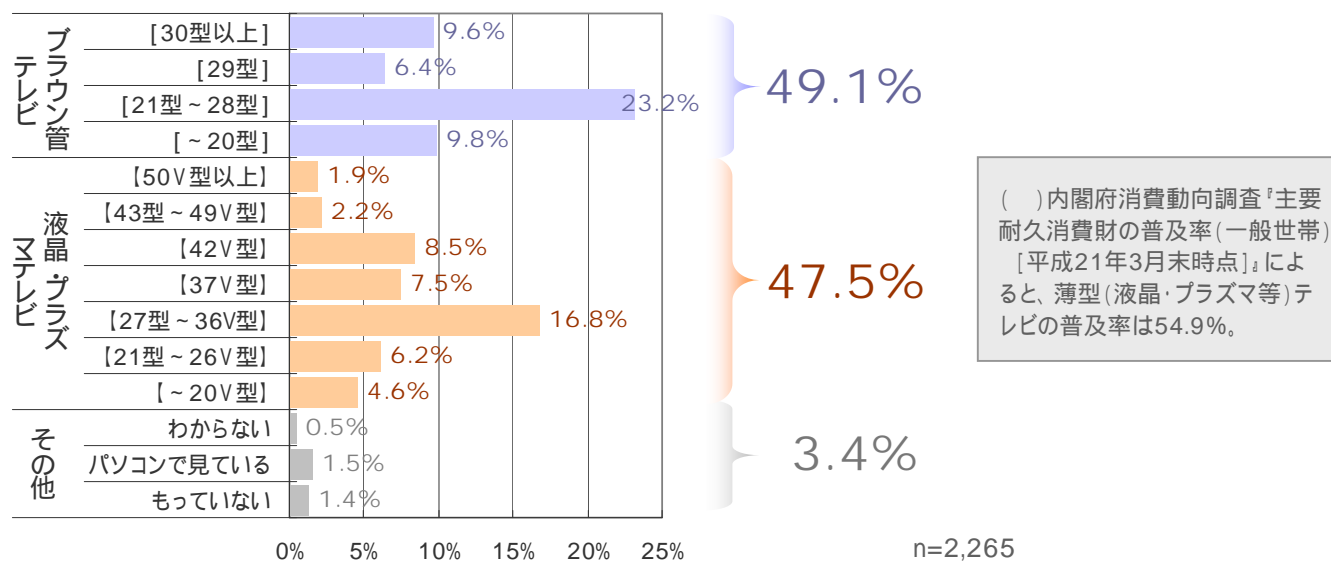
- テレビの保有台数は平均2.2台
- 液晶・プラズマテレビ保有比率は約48%

Q ご家庭で保有されているテレビの台数は？



保有テレビ台数は家族人数と比例

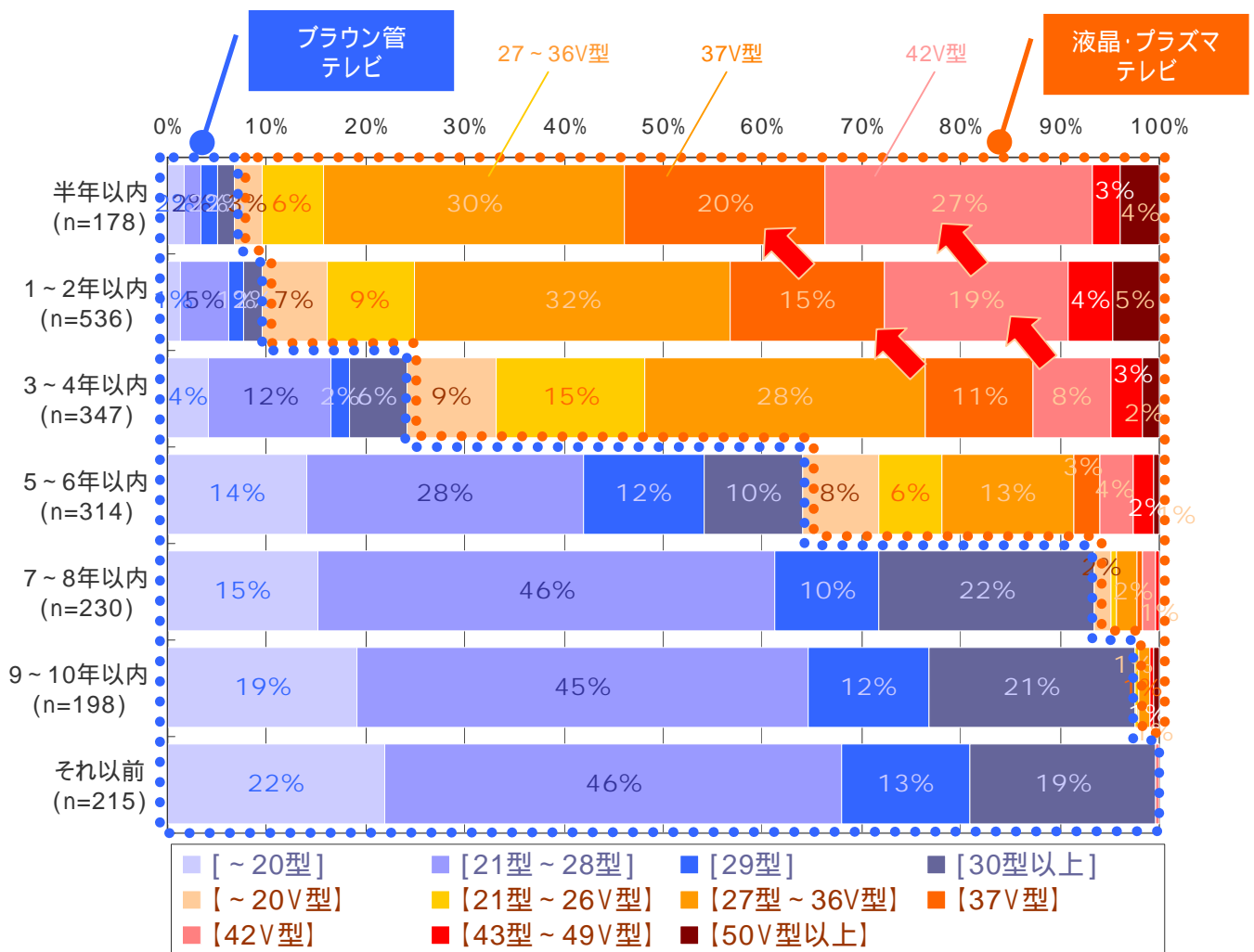
Q ご家庭で主に使用しているテレビの種類とサイズは？



() 内閣府消費動向調査『主要耐久消費財の普及率(一般世帯) [平成21年3月末時点]』によると、薄型(液晶・プラズマ等)テレビの普及率は54.9%。

- 液晶・プラズマテレビの導入は、販売価格が下がり始めた3～4年前から増加
- 直近で購入した方ほど、テレビサイズも大型化

(クロス集計) 【Q 主に使用しているテレビの購入時期】×【Q 主に使用しているテレビのサイズ】



グラフ内で[ブラウン管テレビ]は寒色系、[液晶・プラズマテレビ]は暖色系で表している

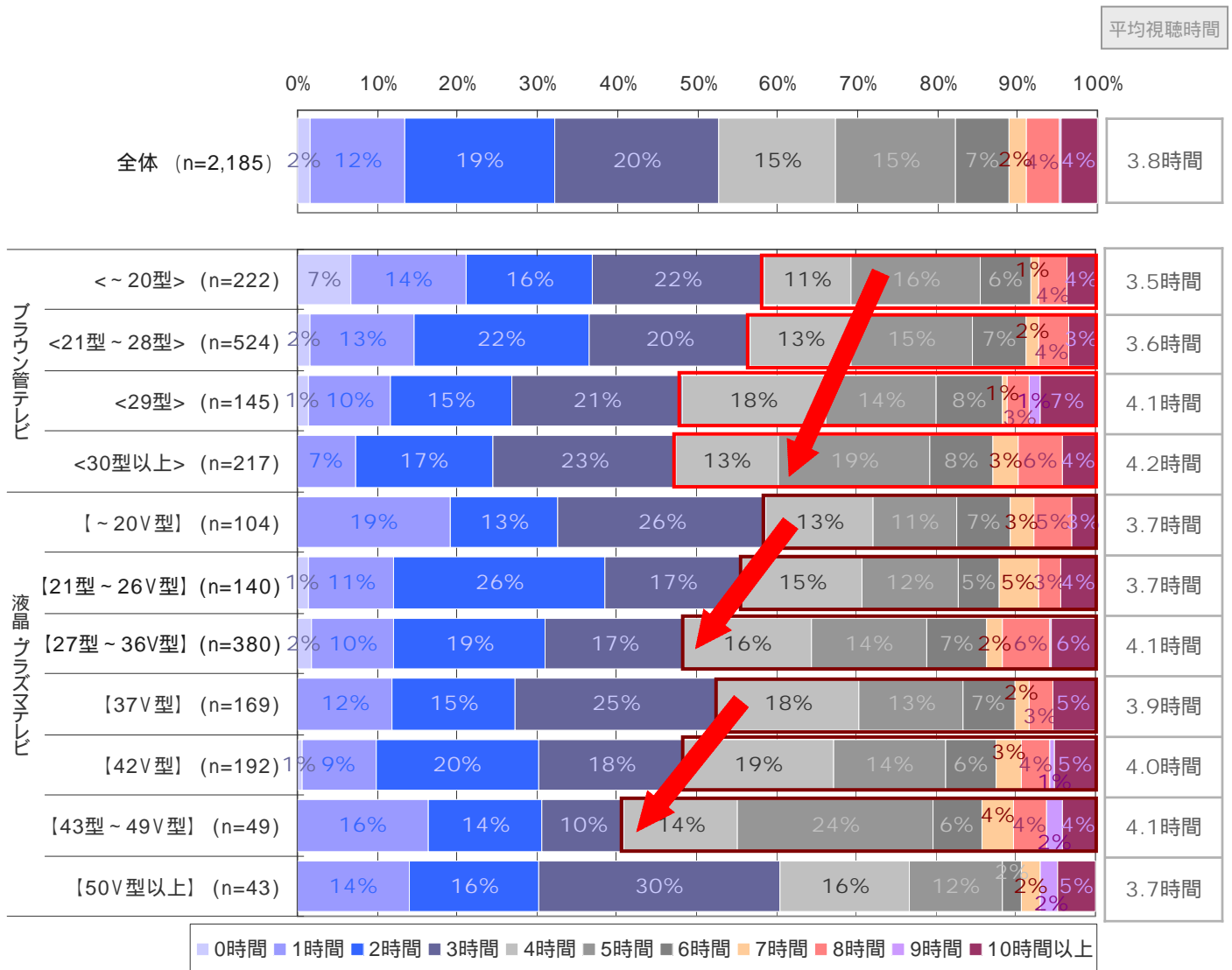
n=2,018

(テレビをもっていない / 購入時期が分からない / パソコンで見ている / サイズがわからない) を除く

出典: 東京電力(株)「TOKYO LIFESTYLE調査 2009」

- [ブラウン管]は、テレビサイズが大きくなるほど、平均視聴時間が若干長くなる傾向がみられる
- 「液晶・プラズマ」は、20～36型の間と、37～49型の間において同様の傾向がみられる

(クロス集計) 【Q 主に使用しているテレビのサイズ】 × 【Q 平日の平均テレビ視聴時間】



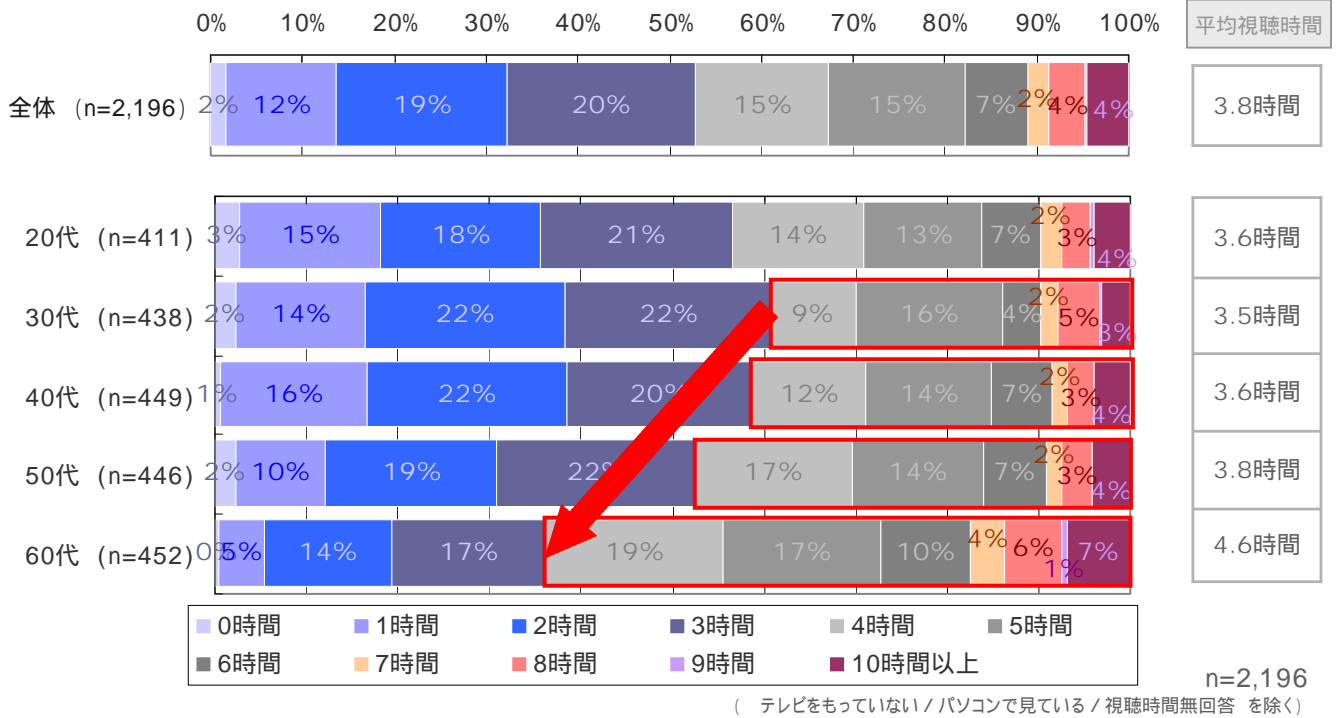
n=2,185

(テレビをもっていない / パソコンで見ている / サイズがわからない / 視聴時間無回答 を除く)

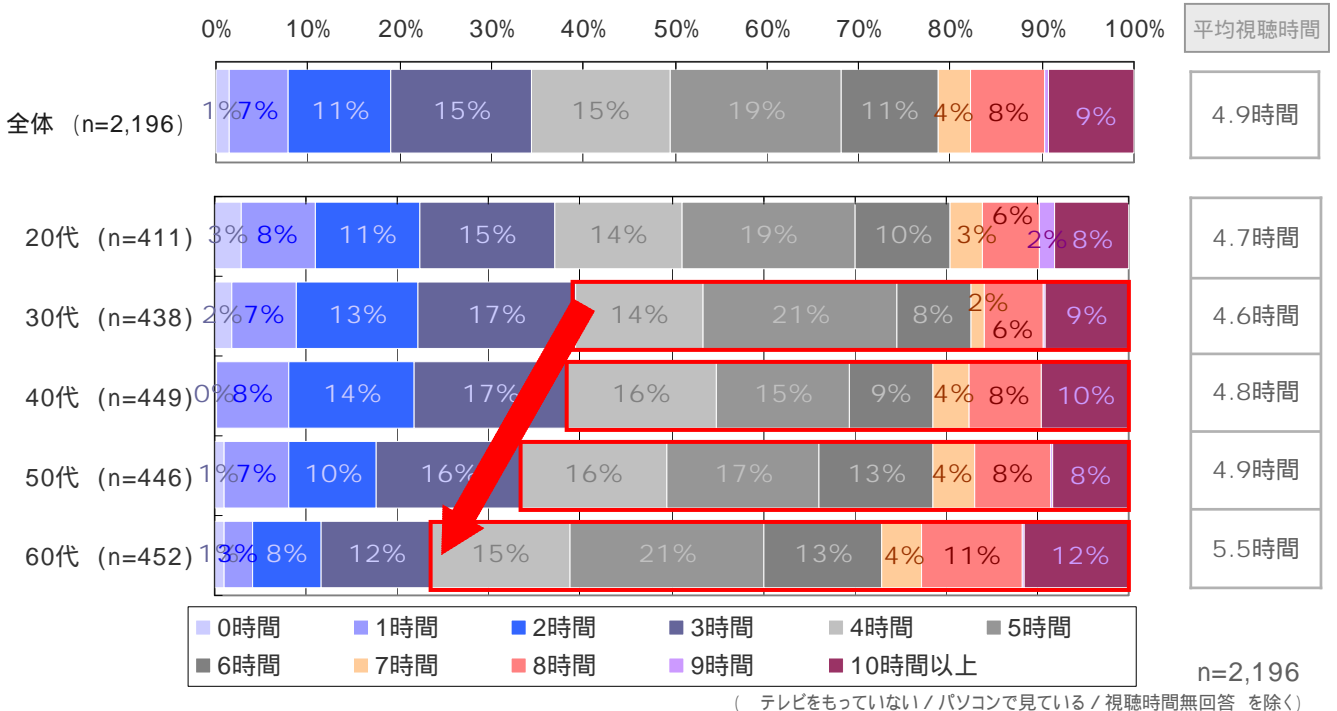
出典: 東京電力㈱「TOKYO LIFESTYLE調査 2009」

- 年代別にみると、年代が高いほど視聴時間も長い
- 平均テレビ視聴時間は、平日に比べて休日は1時間ほど伸びている

(クロス集計) 【Q 年代】 × 【Q 平日の平均テレビ視聴時間】



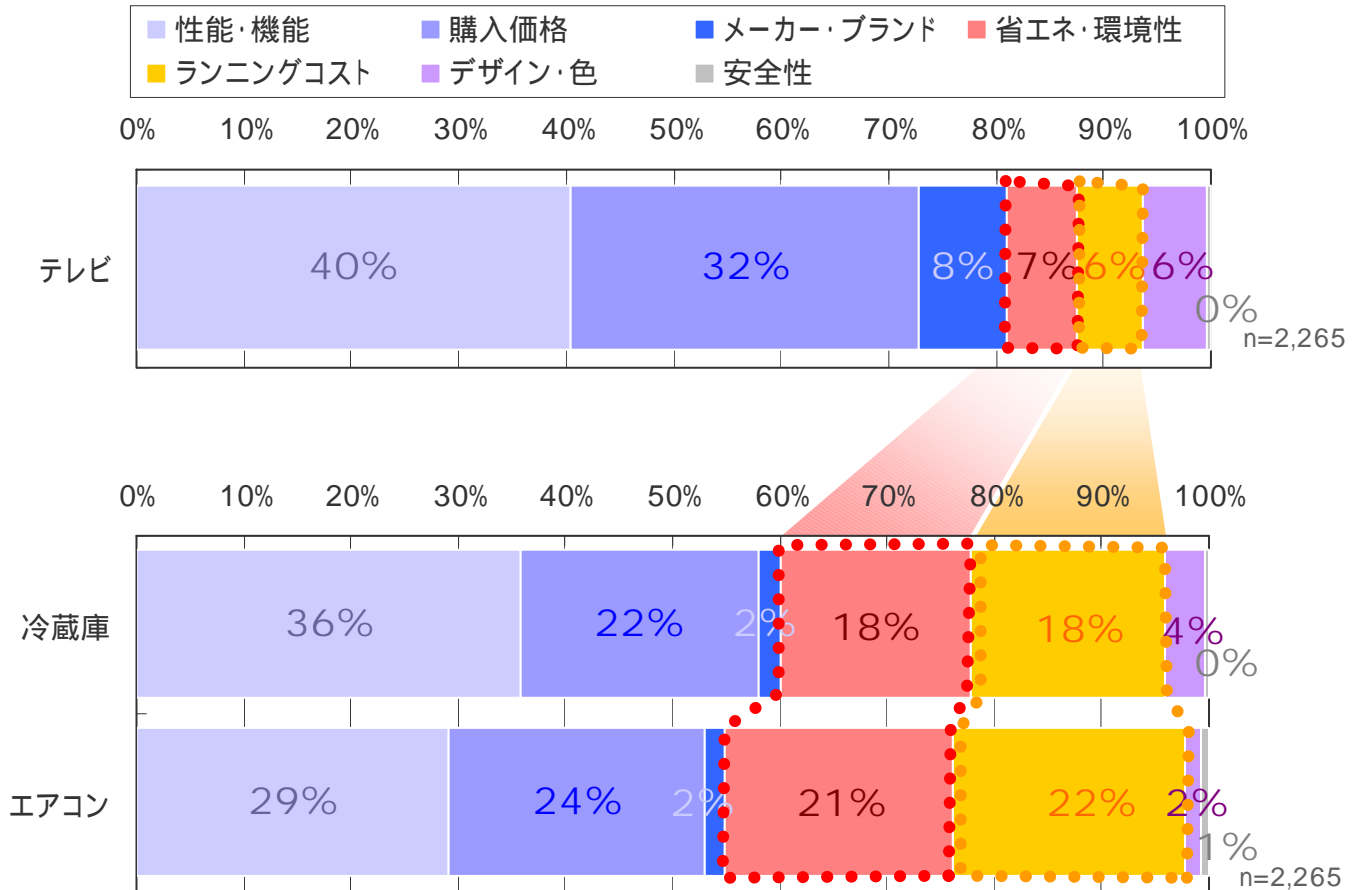
(クロス集計) 【Q 年代】 × 【Q 休日の平均テレビ視聴時間】



出典: 東京電力(株) TOKYO LIFESTYLE調査 2009

- テレビを購入する際の重視ポイントは、[性能・機能] [購入価格] [メーカー・ブランド]の順に高く、[省エネ・環境性] [ランニングコスト]は、冷蔵庫・エアコンと比べると低い

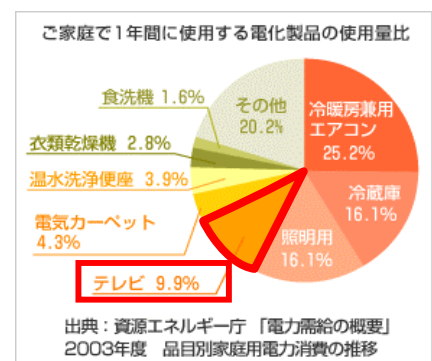
Q 今後、以下の家電を購入するときに最も重視することは何ですか？



同じエコポイント対象家電でも、テレビを購入する際には、[省エネ・環境性] [ランニングコスト]に関する重視度は低い。

しかし、実はテレビの電力使用量は家庭内でも4番目に多い。地デジ対策でテレビの買い替えが増え、また大型化も進む中で重視しなければならないポイントである。

テレビを選ぶ時、またテレビを使う際に留意したい省エネポイントは次ページ以降を参照

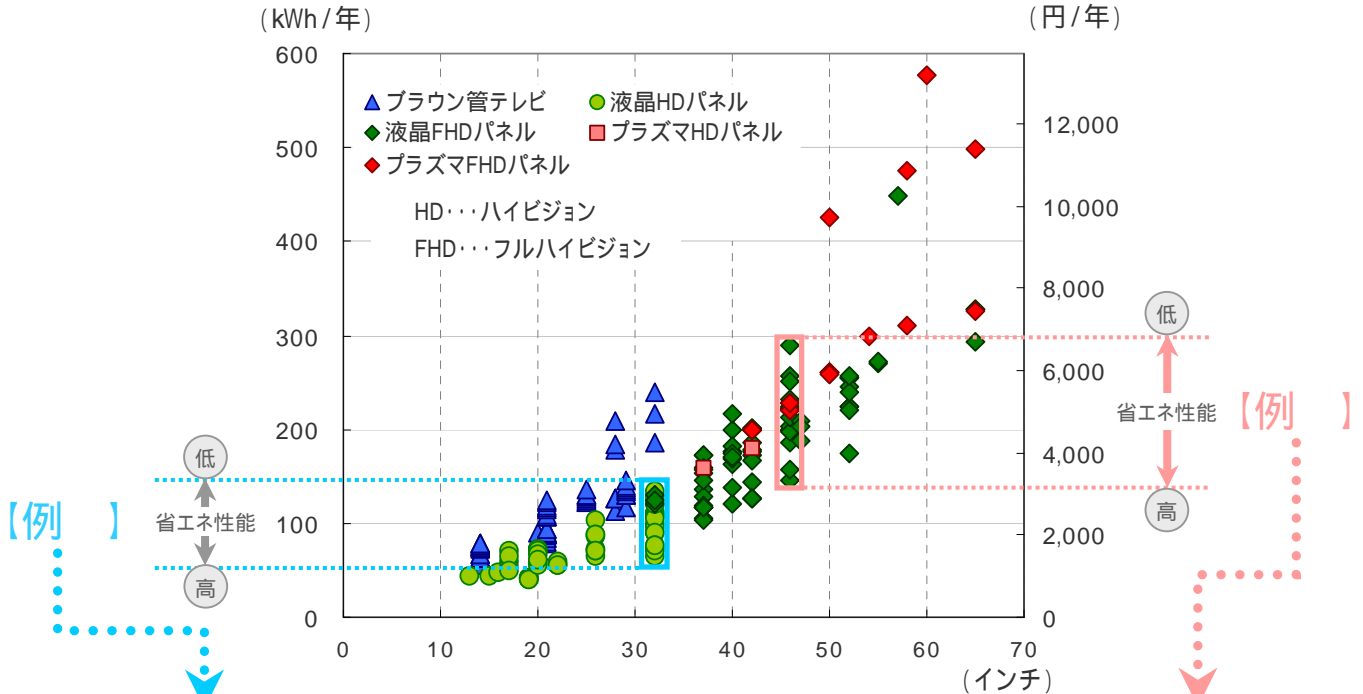


2

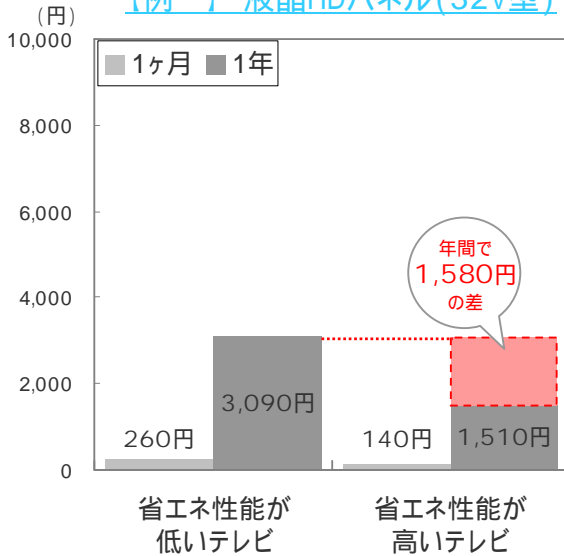
省エネにつながる選び方・使い方

選び方による省エネ

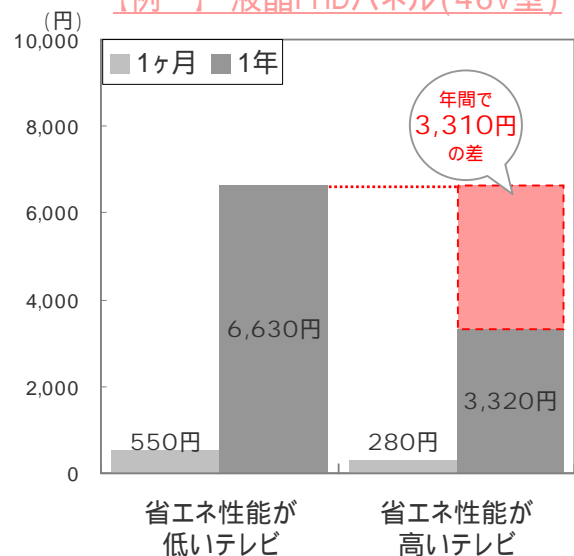
テレビの種類・サイズ別の年間消費電力量・年間電気料金



【例】 液晶HDパネル(32V型)



【例】 液晶FHDパネル(46V型)



【調査および試算条件】

- パナソニック、ソニー、日立、シャープ、三菱、東芝のカタログ(平成21年9月時点での各社発行済みの最新カタログ[平成21年7月版~9~10月版]より)
- 年間消費電力量は、省エネ法に準拠し1日4.5Hの動作時間/19.5Hの待機時間で算出した1年間に使用する電力量です。(メーカーカタログより抜粋)
- モニターとチューナーが別々で掲載されている場合は、合算した年間消費電力で計算しています。
- 電気料金は、22.86円/kWh(税込) 東京電力「従量電灯B」第2段階料金(平成20年9月)で計算しています。
- 65インチより大きいテレビは1種類のため、グラフ表示の関係により省略しました。
- ブラウン管テレビはカタログ掲載がないため、(財)省エネルギーセンターの「省エネ型製品情報サイト」の数値を用いました。

各メーカーのカタログで、掲載数が多い液晶HD(32V型)と、次いで多かった液晶FHD(46V型)の2つを例に挙げました。

同じサイズの液晶・プラズマテレビでも、省エネ性能には差があります。また、サイズが大きくなれば、その分、消費電力量も多くなるため、テレビ選びの際には性能・機能とともに省エネ性もチェックすることが大切です。店頭では「統一省エネラベル」を見て、省エネ基準達成率が高いものを選びましょう。

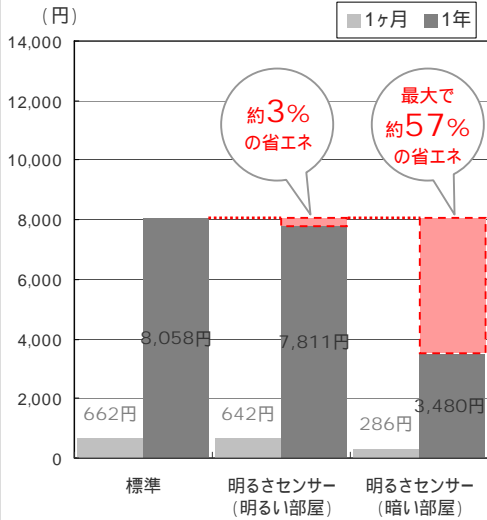


使い方による省エネ

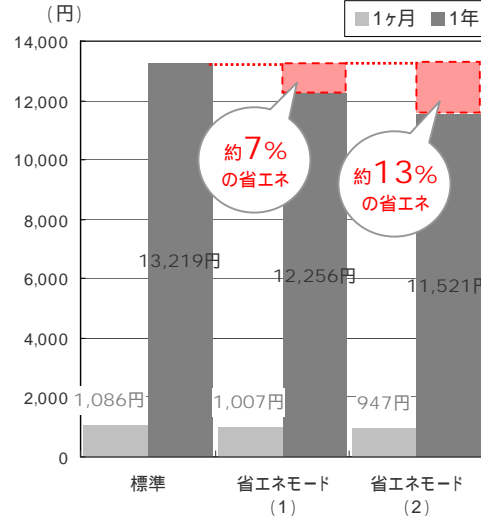
『省エネモード』を設定する

各モードで1日4.5時間、テレビを視聴した時のコスト比較

液晶テレビ(37V型)



プラズマテレビ(42V型)



【試験期間】 平成19年9月
【実施箇所】 東京電力 技術開発研究所
【試験機種】 液晶テレビ: シャープ(株) LC-37GW2W(37V型)
プラズマテレビ: 松下電器産業(現 パナソニック(株)) TH-42PX600(42V型)
【試験方法】 液晶テレビ: 明るさセンサーを「切」にした標準設定
明るさセンサーを「入」にして明室(756ルクス)にて視聴
明るさセンサーを「入」にして暗室(0ルクス)にて視聴
プラズマテレビ: 省エネモード「標準」・「減1」・「減2」にて視聴。
音声レベル: 45~55dB
視聴放送: NHK「ニュース7」(地上波デジタルハイビジョン放送)
【試算条件】 電気料金: 22.86円/kWh(税込) 東京電力「従量電灯B」第2段階料金(平成20年9月)

() 「暗い部屋」は映画を観る時のような完全な暗室の状況であり、この状況において視聴した場合の最大値です。実際の省エネ度合いは、部屋の明るさ(日射状況や照明状況)によって異なります。

液晶テレビの場合は、自動的に画面の明るさを調節する「明るさセンサー」を設定し、プラズマテレビの場合は、部屋の明るさに合わせて画面の明るさを抑える「省エネモード」を上手に使いましょう

省エネモード・・・液晶テレビやプラズマテレビには、視聴時の電気料金を抑える『省エネモード』を搭載しています。(モード名称はメーカーによって異なります。)

【液晶テレビ】(明るさセンサー)

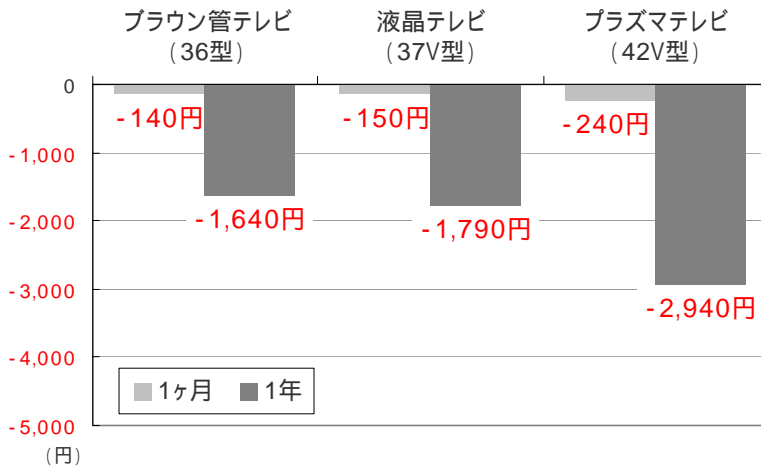
部屋の明るさを本体内蔵のセンサーで検知し、画面の明るさを自動的に調節して消費電力を抑えます。

【プラズマテレビ】(省エネモード)

画面の明るさのピーク輝度を抑え、映像を映すことで消費電力を抑えます。

見ないときにはこまめに消す

テレビをつけている時間を1日1時間減らした時の削減コスト

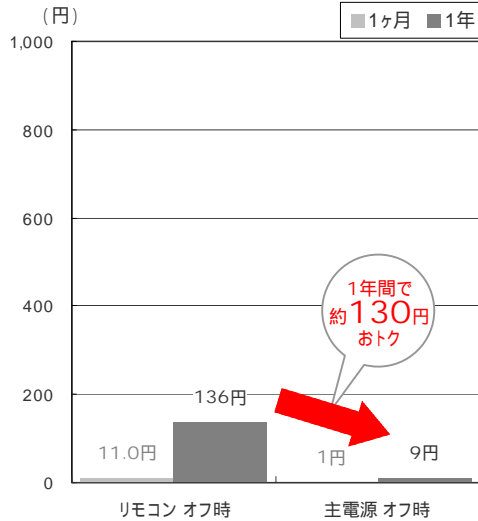


【試験期間】 平成19年9月
【実施箇所】 東京電力 技術開発研究所
【試験機種】 ブラウン管テレビ: ソニー(株) KD-36HR500(36型)
液晶テレビ: シャープ(株) LC-37GW2W(37V型)
プラズマテレビ: 松下電器産業(現 パナソニック(株)) TH-42PX600(42V型)
【試験方法】 液晶テレビ: 明るさセンサーを「切」にした標準設定
プラズマテレビ: 省エネモード「標準」
音声レベル: 45~55dB
視聴放送: NHK「ニュース7」(地上波デジタルハイビジョン放送)
【試算条件】 電気料金: 22.86円/kWh(税込) 東京電力「従量電灯B」第2段階料金(平成20年9月)

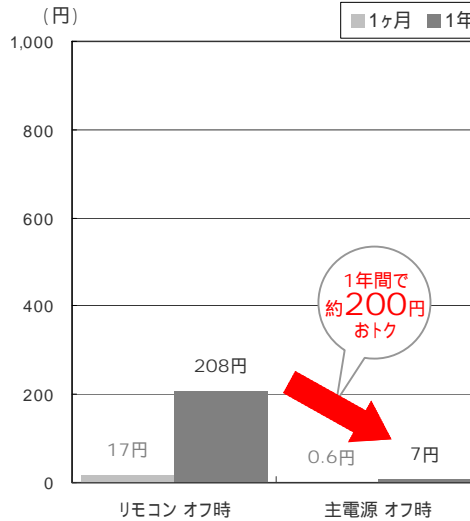
リモコンOFFと主電源OFFによる電気料金の違い

待機時のコスト比較

液晶テレビ(37V型)



プラズマテレビ(42V型)



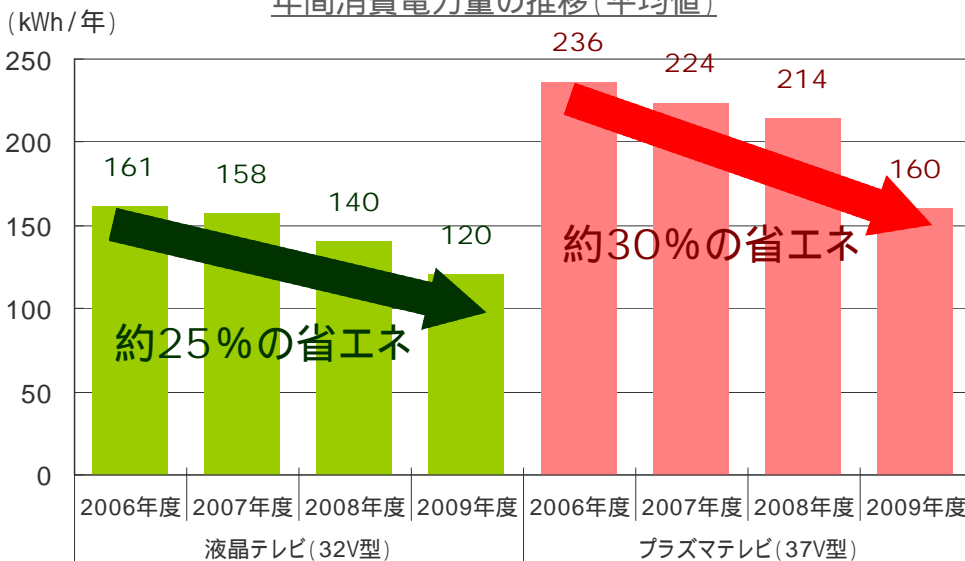
【試験期間】 平成18年12月～平成19年1月
 【実施箇所】 東京電力 技術開発研究所
 【試験機種】 液晶テレビ: シャープ(株) LC-37GX2W(37V型)
 プラズマテレビ: 松下電器産業(現 パナソニック(株)) TH-42PX600(42V型)
 【試算条件】 電気料金: 22.86円/kWh(税込) 東京電力'従量電灯B、第2段階料金(平成20年9月)
 電気料金は、省エネ法に準拠し1日19.5Hの待機時間で算出しています。リモコン オフ時の電気料金はダウンロードサービスの設定をしていないときの値です。

最近のテレビは、待機時消費電力が1W以下がほとんどで、ほぼ0Wという製品も出ています。

デジタル放送対応のテレビは、リモコンで切ると、主電源の待機中に「ダウンロードサービス」を受信しています。テレビをオンにした時にスムーズにEPG(電子番組ガイド)などのサービスを楽しみたい方は、リモコンでのオフをおすすめします。

< 参考 > テレビの省エネ性はどれくらい向上している？

年間消費電力量の推移(平均値)



液晶・プラズマテレビともに、3年前と比べると約25%、約30%の省エネになっています。

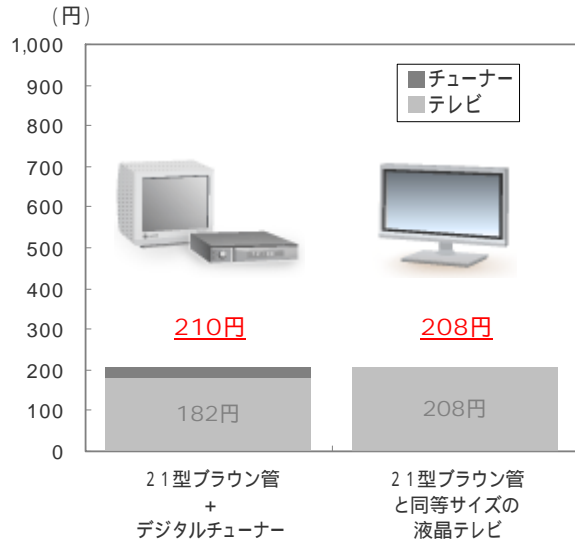
データ出典元: (財)省エネルギーセンター「省エネ性能カタログ」

・同カタログに掲載されている製品の数値を用いました。(各年度の同カタログ(夏・冬)の平均値。2006年度は冬版のみ、2009年度は夏版のみ。)

<参考> テレビを複数台保有している場合の地デジ対応

地上デジタルチューナーの電気料金はどのくらい？

ブラウン管テレビにデジタルチューナーを接続した時のコスト比較(1ヶ月)



【試験期間】 平成20年11月
 【実施箇所】 東京電力 技術開発研究所
 【試験機種】 ブラウン管テレビ:ピクチャー AV21K3(21型)
 液晶テレビ:ピクチャー LT20L1(20V型)
 地上デジタルチューナー:DXアンテナ(DIR610)
 【試験方法】 視聴放送:NHK「ニュース7」(地上波デジタルハイビジョン放送)
 音声レベル:45~55dB
 画質:工場出荷時の初期設定
 【試算条件】 電気料金:22.86円/kWh(税込) 東京電力「従量電灯B」第2段階料金(平成20年9月)
 電気料金は、省エネ法に準拠し1日4.5時間の視聴時間と19.5Hの待機時間で算出しています。

地デジチューナーの消費電力は少なく、7W程度。同じサイズの液晶テレビとほぼ同等の電気料金です。

客間や寝室など、使用頻度が少ないお部屋のテレビには、地上デジタルチューナーを接続して、現在使用しているブラウン管テレビをそのまま活用するという選択肢もあります。

ブラウン管テレビ(横縦比率4:3)での地デジ映像の見え方

地上デジタル放送(横縦比率16:9)



地デジの横縦比率(16:9)がブラウン管テレビの比率(4:3)と異なるので映像の左右が多少切れてしまいます(図【1】)。テレビの設定を切り替えれば、映像を縮小して全体を表示することができますが、上下に黒い帯(レターボックス)が入ります(図【2】)が、21型のブラウン管テレビの映像サイズは、20V型の薄型テレビとほぼ同じです(図【3】)

21型(チューナー取付)ブラウン管テレビ(横縦比率4:3)

【1】



・映像の左右が切れる

【2】



・映像を縮小して全体を表示する
 ・上下に黒い帯(レターボックス)が入る

【3】

ほぼ同じ映像サイズ



・画面いっぱい映像を表示する